

氏名

(問題・解答用紙)

得点

/ 20

問 題 下記の一連の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も
適当と思われるものを選ぶこと。(20 点)

材 料 材 料 副 費 買 掛 金 貸 金 ・ 給 料

材料副費差異 仕 掛 品 製 造 間 接 費 予 算 差 異

操 業 度 差 異

- (1) 当月、素材 500kg (購入対価 1,500 円/kg)、工場消耗品 40,000 円 (購入対価) を
掛けで購入した。なお、購入にさいしては、材料副費として 63,200 円を予定配賦
している。
- (2) 当月の材料副費の実際発生額は 80,000 円であったので、(1) の材料副費予定配賦
額との差額を材料副費差異勘定に振り替える。
- (3) 当月の労務費の実際消費高を計上する。なお、直接工の作業時間報告書によれば、
直接作業時間 (加工および段取時間) は 906 時間、間接作業時間は 20 時間、手待
時間が 10 時間であった。当工場において適用される直接工の予定賃率は 1 時間当
たり 1,200 円である。
- (4) 直接作業時間を配賦基準として製造間接費を各製造指図書に予定配賦した。なお、
当工場の年間の製造間接費予算は 40,608,000 円、年間の予定総直接作業時間は
11,280 時間である。
- (5) 当月の製造間接費の実際発生額は 3,328,000 円であったので、(4) の予定配賦額
との差額を予算差異勘定と操業度差異勘定に振り替える。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

問 題 下記の一連の取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も
適当と思われるものを選ぶこと。(20点)

材 料 材 料 副 費 買 掛 金 賃 金 ・ 給 料
材料副費差異 仕 掛 品 製 造 間 接 費 予 算 差 異
操 業 度 差 異

- (1) 当月、素材 500kg (購入対価 1,500 円/kg)、工場消耗品 40,000 円 (購入対価) を
掛けで購入した。なお、購入にさいしては、材料副費として 63,200 円を予定配賦
している。
- (2) 当月の材料副費の実際発生額は 80,000 円であったので、(1) の材料副費予定配賦
額との差額を材料副費差異勘定に振り替える。
- (3) 当月の労務費の実際消費高を計上する。なお、直接工の作業時間報告書によれば、
直接作業時間 (加工および段取時間) は 906 時間、間接作業時間は 20 時間、手待
時間が 10 時間であった。当工場において適用される直接工の予定賃率は 1 時間当
たり 1,200 円である。
- (4) 直接作業時間を配賦基準として製造間接費を各製造指図書に予定配賦した。なお、
当工場の年間の製造間接費予算は 40,608,000 円、年間の予定総直接作業時間は
11,280 時間である。
- (5) 当月の製造間接費の実際発生額は 3,328,000 円であったので、(4) の予定配賦額
との差額を予算差異勘定と操業度差異勘定に振り替える。

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	材 料	853,200	買 掛 金	790,000
			材 料 副 費	63,200
(2)	材料副費差異	16,800	材 料 副 費	16,800
(3)	仕 掛 品	1,087,200	賃 金 ・ 給 料	1,123,200
	製 造 間 接 費	36,000		
(4)	仕 掛 品	3,261,600	製 造 間 接 費	3,261,600
(5)	操 業 度 差 異	122,400	製 造 間 接 費	66,400
	— <別解> —		予 算 差 異	56,000
	操 業 度 差 異	122,400	製 造 間 接 費	122,400
	製 造 間 接 費	56,000	予 算 差 異	56,000

(1) 材料費の計算

$$\begin{aligned}\text{購入原価} &= \text{購入代金} + \text{材料副費} = 1,500 \text{ 円/kg} \times 500\text{kg} + 400,000 + 63,200 \\ &= 853,200\end{aligned}$$

(2) 材料副費差異の把握

$$\begin{aligned}\text{材料副費差異} &= \text{材料副費実際発生額} - \text{材料副費予定配賦額} \\ &= 80,000 - 63,200 = 16,800 \text{ (借方差異)}\end{aligned}$$

(3) 労務費の計算

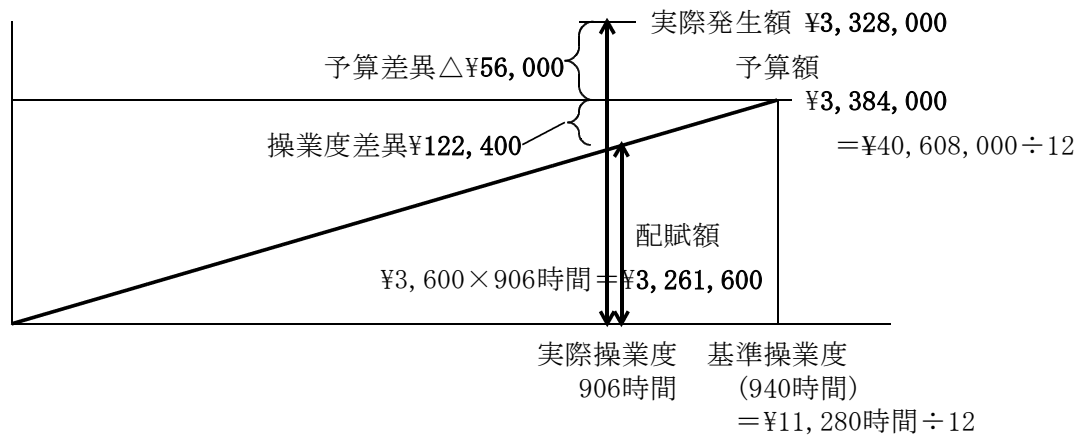
$$\text{直接労務費} = \text{予定消費賃率} \times \text{直接作業時間} = @1,200 \times 906 = 1,087,200$$

$$\text{間接労務費} = \text{予定消費賃率} \times \text{間接作業時間} = @1,200 \times (20+10) = 36,000$$

(4) 製造間接費の予定配賦

$$\begin{aligned}\text{製造間接費予定配賦額} &= \text{予定配賦率} \times \text{実際直接作業時間} \\ &= (\text{年間製造間接費予算} / \text{年間総直接作業時間}) \times \text{実際直接作業時間} \\ &= (40,608,000 / 11,280) \times 906 = 3,261,600\end{aligned}$$

(5) 製造間接費配賦差異の把握



問題 当工場では、実際個別原価計算を採用している。次の〔資料〕にもとづいて、下記の問いに答えなさい。(20点)

〔資料〕

(1)

製造指図書番号	直接材料費	直接労務費	直接作業時間	備考
# 11	302,000円	150,000円	120時間	5/15製造着手 5/28完成 6/ 2販売
# 12	50,000円(5月分) 300,000円(6月分)	40,000円(5月分) 160,000円(6月分)	60時間(5月分) 100時間(6月分)	5/20製造着手 6/ 3完成 6/ 8販売
# 13	820,000円	350,000円	280時間	6/ 4製造着手 6/10一部仕損 6/20完成 6/22販売
# 13-2	70,000円	100,000円	80時間	6/11補修開始 6/15補修完了
# 14	840,000円	750,000円	600時間	6/21製造着手 6/27完成 6/30在庫
# 15	80,000円	37,500円	30時間	6/28製造着手 6/30仕掛

なお、# 13-2 は仕損が生じた # 13 を補修して合格品とするために発行した指図書であり、仕損は正常なものであった。

(2) 製造間接費は、直接作業時間を配賦基準として各製造指図書に予定配賦している。
年間の製造間接費予算額は 12,960,000 円、年間の正常直接作業時間は 14,400 時間である。6月の製造間接費実際発生額は、1,120,000 円であり、月次損益計算書においては、製造間接費の配賦差異は原価差異として売上原価に賦課する。

問1 6月の仕掛品勘定と月次損益計算書を作成しなさい。

問2 製造間接費の予定配布額と実際発生額の差額について、上記の予算を用いて予算差異と操業度差異を計算しなさい。借方差異か貸方差異かを明示すること。

氏名 _____

(解答用紙)

得点	／ 20
----	------

問1

仕 掛 品		(単位：万円)
6/1月初有高 ()	6/30製 品 ()	
30直接材料費 ()	〃 月 末 有 高 ()	
〃 直接労務費 ()		
〃 製造間接費 ()		
()		()

月次損益計算書		(単位：万円)
売 上 高		9,320,000
売 上 原 価		
月初製品有高	560,000	
当月製品製造原価	()	
合 計	()	
月末製品有高	()	
差 引	()	
原 価 差 異	()	()
売上総利益		()
販売費及び一般管理費		1,870,000
営 業 利 益		()

問2

予 算 差 異 = 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと

操 業 度 差 異 = 円 (借方差異 ・ 貸方差異)
いずれかを○で囲むこと

問1

仕 掛 品		(単位：万円)
6/1月初有高	(144,000)	6/30製 品 (4,488,000)
30直接材料費	(2,110,000)	" 月 末 有 高 (144,500)
" 直接労務費	(1,397,500)	
" 製造間接費	(981,000)	
	(4,632,500)	(4,632,500)

月次損益計算書

(単位：万円)

売 上 高		9,320,000
売 上 原 価		
月初製品有高	560,000	
当月製品製造原価	(4,488,000)	
合 計	(5,048,000)	
月末製品有高	(2,130,000)	
差 引	(2,918,000)	
原 価 差 異	(139,000)	(3,057,000)
売上総利益		(6,263,000)
販売費及び一般管理費		1,870,000
営 業 利 益		(4,393,000)

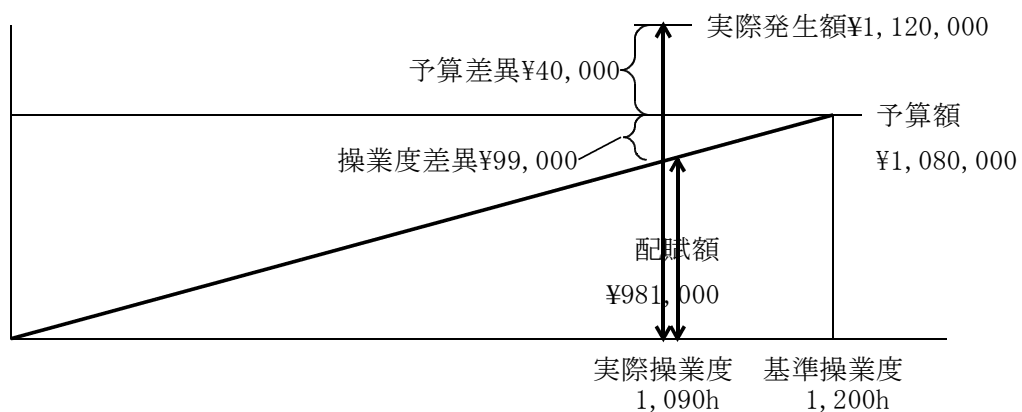
問2

予 算 差 異 =	40,000 円	(借方差異) ・ 貸方差異)
		いずれかを○で囲むこと
操 業 度 差 異 =	99,000 円	(借方差異) ・ 貸方差異)
		いずれかを○で囲むこと

仕 掛 品				(単位：万円)
6/1月初有高	(144,000)	6/30製品	(4,488,000)	
30直接材料費	(2,110,000)	"月末有高	(144,500)	
"直接労務費	(1,397,500)			
"製造間接費	(981,000)			
	(4,632,500)			(4,632,500)
	直接材料費	直接労務費	直接作業時間	備 考
#11	302,000円	150,000円	120時間 (¥108,000)	5/15製造着手 5/28完成 6/2販売
#12	50,000円(5月分)	40,000円(5月分)	60時間(5月分) (¥54,000)	5/20製造着手
	300,000円(6月分)	160,000円(6月分)	100時間(6月分) (¥90,000)	6/3完成 6/8販売
#13	820,000円	350,000円	280時間 (¥252,000)	6/14製造着手 6/10一部仕損 6/20完成 6/22販売
#13-2	70,000円	100,000円	80時間 (¥72,000)	6/11補修開始 6/15補修完了
#14	840,000円	750,000円	600時間 (¥540,000)	5/21製造着手 6/27完成 6/30在庫
#15	80,000円	37,500円	30時間 (¥27,000)	6/28製造着手 6/30仕掛

原価差異＝製造間接費実際発生額－製造間接費予定配賦額

$$= 1,120,000 - 981,000 = 139,000$$



$$\text{予算差異} : 1,120,000 - 1,080,000 = 40,000$$

$$\text{操業度差異} : 900\text{円/時間} \times (1,200 - 1,090)\text{時間} = 99,000$$

$$\underline{\underline{139,000}}$$

問 題 (20 点)

直接作業時間を基準として製造間接費を部門別に予定配賦しているH I T製作所には、製造部門としての第1製造部と第2製造部があり、補助部門として修繕部、材料倉庫部、工場事務部がある。下記の〔資料〕にもとづいて、次の問いに答えなさい。

問1 答案用紙の予算部門別配賦表を完成し、第1製造部と第2製造部の部門別予定配賦率を計算しなさい。なお、補助部門費の配賦は直接配賦法による。

問2 第1製造部の当月の実際直接作業時間が800時間であったとし、答案用紙の製造間接費(第1製造部)勘定への記入を完成しなさい。

〔資料〕

1. 当製作所の部門別製造間接費予算(年間)

第1製造部	第2製造部	修 繕 部	材料倉庫部	工場事務部
65,760,000 円	48,960,000 円	9,000,000 円	7,000,000 円	8,000,000 円

2. 当製作所の予定直接作業時間(年間)

第1製造部：10,800時間 第2製造部：12,000時間

3. 補助部門費の配賦資料

	配賦基準	合 計	第1製造部	第2製造部	修繕部	材料倉庫部	工場事務部
修繕部費	修繕回数	100回	60回	30回	6回	4回	—
材料倉庫部費	材料出庫額	35,000千回	20,000千円	15,000千円	—	—	—
工場事務部費	従業員数	112人	52人	48人	5人	5人	2人

氏名 _____

(解答用紙)

得点	／ 20
----	------

問 1

製造間接費予算部門別配賦表

(単位：千円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		第 1 製造部	第 2 製造部	修 繕 部	材料倉庫部	工場事務部
部 門 費	138,720,000	65,760,000	48,960,000	9,000,000	7,000,000	8,000,000
修繕部費						
材料倉庫部費						
工場事務部費						
製造部門費						

第 1 製造部の予定配賦率 = 円／時間

第 2 製造部の予定配賦率 = 円／時間

問 2

製造間接費（第 1 製造部）

(単位：円)

実 際 発 生 額	6, 000, 000	予 定 配 賦 額	()
予 算 差 異	()	操 業 度 差 異	()
	<u>()</u>		<u>()</u>

問 1

製造間接費予算部門別配賦表

(単位：千円)

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		第 1 製造部	第 2 製造部	修 繕 部	材料倉庫部	工場事務部
部 門 費	138,720,000	65,760,000	48,960,000	9,000,000	7,000,000	8,000,000
修繕部費	9,000,000	6,000,000	3,000,000			
材料倉庫部費	7,000,000	4,000,000	3,000,000			
工場事務部費	8,000,000	4,160,000	3,840,000			
製造部門費	138,720,000	79,920,000	58,800,000			

第 1 製造部の予定配賦率 = 7, 4 0 0 円／時間

第 2 製造部の予定配賦率 = 4, 9 0 0 円／時間

問 2

製造間接費（第 1 製造部）

(単位：円)

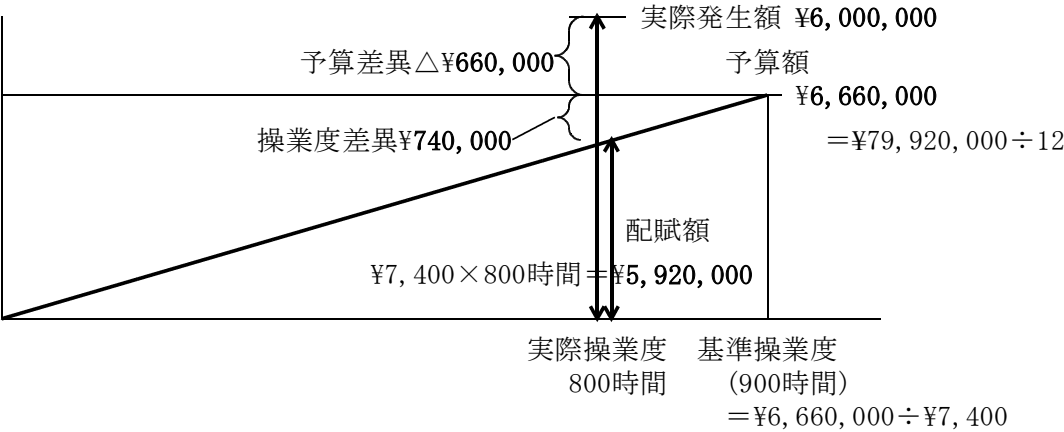
実 際 発 生 額	6, 000, 000	予 定 配 賦 額 (5, 920, 000)
予 算 差 異 (660, 000)		操 業 度 差 異 (740, 000)
(6, 660, 000)		(6, 660, 000)

問 1

第 1 製造部の予定配賦率 = 製造部門費配賦額 ÷ 予定直接作業時間
= 79,920,000 円 ÷ 10,800 時間 = 7,400 円／時間

第 2 製造部の予定配賦率 = 製造部門費配賦額 ÷ 予定直接作業時間
= 58,800,000 円 ÷ 12,000 時間 = 4,900 円／時間

問 2



出所：139 回(2015 年 2 月)第 4 問